

～妖精の森～ 櫛形山

日程：2015年 7月 12日

メンバー：F (L)、M、K、T、M、M、H、C、M (報告)、O (ゲスト)

報告：M

山なかまシリウスに入会して1年半、山行になかなか参加できずに過ごしていましたが、ある日、Fさんから「行きたい山があれば…」と声をかけていただきました。「アヤメ」で有名な櫛形山を思い出してお願いしました。

随分昔に登って喜んでいた方の様子を覚えていたのですが、お願いした後で調べてみると、「近年は鹿害などで花は少なくなっている」とのことで驚きました。「よく知らずにお願いしてしまった、これはFさんや参加される方々に申し訳ない」と秘かに焦っていました。

ところが実際に登ってみると、櫛形山は奥の深い、素敵な山でした。登山口を過ぎてすぐにオダマキが歓迎してくれました。セミが鳴く道を進んでいくと間もなく急登にさしかかり「早速のお山の試練か…」と恨めしく見上げると、それはシダが緑の絨毯のように一面に広がる斜面です。肩の力が抜けて「ゆっくり進んでいこう」という気持ちになりました。

明るく開けた森の中は苔むした朽木やシダが輝いて、妖精が遊んでいるような趣です。恐らくメンバーの皆さん全員が妖精を探していたことでしょう。

何度も櫛形山に来ているTさんは「ここは私の秘蔵の山」とのことで、愛しそうにあちこちカメラに収めていました。「苔の朽木」は各々個性的な形をしており、その一つ「火星人」のような朽木と握手しました。

誰かが「いい山だねえ」と言うと、他の誰かが「いい山だねえ」と返す、うっとりとした小さな山彦をくり返しました。





裸山とアヤメ平の分岐の一面に、ネットで囲まれたアヤメの保護区がありました。アヤメの群落です。ここが唯一の観賞ポイントと思われ、沢山の人達がカメラを向けていました。目の覚めるような紫色の花びら、りんとして立つ姿は、気高く存在感がありました。この先のアヤメ平では、黄色や白の小さな花が一面に咲いて、ネジバナやショウマが彩りを添えていました。

ここで昼食休憩。皆さんが下から水や材料を運んでくださり、カレースープを作りました。Hさんお手製のおいしい漬物アラカルトは、食卓を賑やかにしてくれました。皆で材料を鍋に入れたり味見をしたり、アルファ米ができあがるとカレーに投入してみたり、満腹で皆さん少し苦しそうでしたが楽しいひとときとなりました。

復路は新道を下り、サルオガセを纏った唐松林やもみじ平を抜け（秋も良さそう）北岳展望デッキからは甲斐駒など南アルプスを眺めました。

櫛形山は西に南アルプスの山脈と向かい合っており、正に展望台と言える位置に大きな優しげな姿で鎮座していますが、樹々の豊かな山ですのでパノラマを楽しみながら歩くということはできず、開けた場所に展望台が作られていました。

今回、参加された皆さんと櫛形山を共有できて「やっぱり山はいいね！」と言いあえたことが嬉しくて、最高の思い出となりました。

ありがとうございました。

<コースタイム>

林道終点・池ノ茶屋登山口 11:20－櫛形山 12:15－裸山－12:50 アヤメ平 14:30

－新ルート－16:00 北岳展望デッキ 16:10－16:40 池ノ茶屋登山口